

◆企画名	【ピアサポチャレンジ】新入生を迎えよう！（新入生誘導及び写真撮影）
日 程	2025 年 4 月 1 日（火） 9 時 00 分～16 時 30 分
場 所	千里山キャンパス
参加者数	29 名（うち、ピア・サポータ 8 名、研修生 5 名、一般学生 16 名）

目 的

- ・入学式で新しく関西大学の仲間(peer)となった新入生及びその保護者に対して、学内誘導や写真撮影等の補助を行うことで、大学生活のスタートを応援する。
- ・また、新入生に対するサポート活動を通して、ピア・サポート活動の広報も兼ねる。
- ・運営側の一般学生を募集し、一緒に新入生に対するサポート活動を行うことで、ピア・サポート活動を体験してもらい、関西大学ピア・コミュニティへの興味関心を深める機会とする。

内 容

- ・適宜学内を巡回し、新入生や保護者に対して入学式会場や学部行事会場など学内の案内及び写真撮影の補助を行った。

【当日スケジュール】

- 09:00 参加者集合（凜風館 1 階・ピアエリア）
- 09:00 学内での新入生・保護者を対象とした式場への誘導・写真撮影補助
- 09:45 入学式会場への移動の呼びかけ
- 10:00 入学式開始（午前の部）
～入学式（午前の部）～
- 11:00 新入生学部行事会場への誘導・保護者待機場所への誘導
- 12:00 休憩・昼食
- 13:00 学内での新入生・保護者を対象とした式場への誘導・写真撮影補助
- 13:45 入学式会場への移動の呼びかけ
- 14:00 入学式開始（午後の部）
～入学式（午後の部）～
- 15:00 新入生学部行事会場への誘導・保護者待機場所への誘導
- 16:00 正門付近での写真撮影補助
- 16:30 誘導活動終了

【活動グループ】

- ・5つのグループに分かれて各地点で写真撮影補助、入学式会場への誘導を行った。
グループ A：正門前
グループ B：第 3 学舎前（10:30～11:30/14:30～16:30 はグループ D と合流して活動）
グループ C：図書館前
グループ D：悠久の庭
グループ E：明日香の庭（9:10～10:30/13:10～14:30 はグループ D と合流して活動）

効 果

- ・運営本部に限らず、全コミュニティから参加者を募ったことで、コミュニティ間の交流促進につながった。
- ・一般学生と共に活動したことで、普段の活動と雰囲気が変わり、ピア・サポータも楽しみながら活動できた。
- ・服装についてはピア・コミュニティジャンパーを貸し出して服装を統一して活動したことで、一体感をもって活動ができた。
- ・一般学生を募集したことで、必要な人数を確保でき、写真撮影や案内においても休憩を入れつつ、笑顔で活動できた。
- ・入学式会場への移動の呼び掛けについては、事前説明会において入学式に遅れるのは個人の自由であり、移動しない人がいても強制する必要はない旨の説明を受けていたことで、呼びかけに応じない人に対してもストレスを感じることなく行えた。
- ・お弁当が支給されたことで一般学生とも同じ場所で食べることができ、初対面の学生同士が打ち解けて話すきっかけとなった。

- ・トランシーバーの利用により円滑に連絡を取り合うことができ、各チームの動きがすぐに分かった。

改善点

- ・写真スポットに並んでいる保護者が、お子さんが来ていない間に順番になったときに、お子さんが来てから途中入りしていいか聞かれたが、ルールがなく途中入りを断ってしまった点。
→列整理の際の対応を予め決定し、統一する。コミュニティ内での振り返りでは、一番前で順番を譲り続けて待っていた人や、1人が並んでいたところに後から10人程の友達に来て写真を撮る人もいたため、基本的にはOKとした方が対応として適切なのではないかという意見があった。
- ・長時間立ち続けての活動となるため、疲労が大きい点。
→定期的に交代で休憩を取るよう呼びかける。また、各班の人数に余裕を持たせる。

感想

今年も昨年同様に一般学生を募集したことで、人数にも余裕をもって活動できた。
「新入生や保護者の方のサポートをすることにやり甲斐を感じた」「感謝されてうれしかった」などの感想が多くあった。また「自分の新入生の頃を思い出した」「お祝いの場に関われたことで自分自身も幸せな気持ちになれた」という感想もあった。

一方、会場までの誘導や写真スポットの混雑などには大きな課題もあったほか「長時間の立ち仕事で疲れが大きい」という感想もあった。次年度は写真スポットでの対応を予め決めたうえで全体に共有する、無理しているメンバーがいないかグループのリーダーを中心として気にかけるようにするなど、サポートする側もされる側も気持ちよく過ごせる活動にしていきたい。

2024年からの試みを引き継ぎ、一般学生が運営側として参加する「ピアサポチャレンジ」として、一般学生にもピア・サポート活動をしてもらうことで、一般学生にピア・サポートを知ってもらう機会になった。また参加者同士での交流がうまれ、新年度最初の企画として参加者同士の親交を深めていくという意味でも大きな成果があったと感じる。